

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

## 自己評価票

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今年度新たに「広げよう地域との和」という理念を追加した。	○ 理念を継続していく
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝申し送り後皆で理念を唱和し業務についている。	○ 今後も今での取り組みを続行する。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念を来訪者等皆が見える所に掲示している。契約時、入所時に詳しく説明している。またグループホーム便りに掲載したりしている。	○ 今後も取り組みを続行する。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町外れのため隣近所との交流が少ないが、散歩した折に近所、お店の人に声をかけて頂いている。誰でも気軽に面会や施設見学に来れるような雰囲気作りに気を配っている。併設のデイケアの利用者の人達が面会に来てくれる。	○ 今後も続行する。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	出来るだけ外出する機会を作り、地域の人達に声をかけてもらえるように心がけている。また地域の行事などにも出来るだけ参加できるように務めている。	○ 今後も続行する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	まだ地域の高齢者の暮らしに役立つための取り組みまでいっていないが、個々に認知症をかかえている家族の相談にのったりしている。人材育成の貢献として看護学生等の受け入れをしている。	○	どのような方法があるか検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価後職員皆で話し合い地域密着の理念に近づけられるように計画等を立て実行している。	○	今後も続行する。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告意見を基に少しずつサービス向上につなげている。	○	積極的に意見をもらい改善に生かしていきたい。今まで3ヶ月に1回の開催でしたが今後2ヶ月に1回の開催にしていく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の指導を受けそれらをサービスの質の向上に生かし取り組んでいる。	○	継続する。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	まだ必要性のある利用者がいないので活用していない。	○	大まかには理解しているが、勉強不足のため学習会を開いて学んでいきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	絶対起こさないように務めている。開かれたグループホーム作りを目指している。	○	勉強会を継続していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分時間をかけて説明し、利用者家族に出来るだけ納得してもらうようにしている。	○ 今後も十分時間をかけて丁寧に説明していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の気持ちを大切に生活環境を整えるようにしている。意見箱を設置している。	○ より自由に要望、苦情を言い易い環境を作るように取り組んでいく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会等を利用して報告している。また必要があれば電話、手紙で連絡している。	○ 今後も続行する。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	出来るだけ家族の意見を聴くように心がけている。家族からのアンケートを取り家族の思いを少しでも理解することが出来るように務めている。ご意見箱を設置している。	○ 今後も続行する。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務改善会議や引継ぎを利用して意見や提案を聴き、業務等に生かしていくようにしている。	○ 今後も続行する。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の意見や希望を聴きながら対応している。	○ 今後も続行する。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新職員が早くなれるようにオリエンテーションを詳細にしたり、業務マニュアル等の整備をしている。	○ 今後も継続する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員には施設外研修に積極的に参加してもらっている。研修会を受けた後には報告会をしている。引継ぎを利用して事例検討等をしている。</p>	○ 介護部門として「私たちの価値を高めよう」をスローガンに教育システムの構築と情報の共有化の指針を立て取り組んでいる。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホーム見学や交換研修を実施している。市内のグループホームの行事に参加し交流しました。</p>	○ 今後も継続する。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>皆が納得できるような勤務表を作るように、また職員が働きやすい職場環境を作るように心がけている。</p>	○ 今後も継続していく。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>研修受講記録表を活用することにより各自の学習につながり皆が向上心を持つようになった。</p>	○ 今後も継続していく。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前調査によりアセスメントし、本人も交えて施設見学をするようにすすめている。その時になどに状況把握や関係作りをしている。</p>	○ 居宅ケアマネジャーと連携し、本人・家族にとって最適なサービスを受けられるようにしていく。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族の意向を十分に聴きケアプランに反映できるよう信頼関係の構築に務めている。</p>	○ 今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の思いや利用者本人の状況を聴きながら、今利用できる支援体制をアドバイスしている。	○	今後も継続する。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人に施設見学していただき、職員とも顔を会わせて慣れ親しんでもらうようにしている。また併設のデイサービスに通っていただき場の雰囲気や他の利用者や職員と馴染めるようにしている。	○	今後も継続する。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者職員は常に寄り添いながら支えあうことに務めている。	○	今後も継続する。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の意向を受け止めお互いに協力しあいながら利用者を支える関係作りに務めている。	○	今後も継続する。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の方にグループホームの生活状況や本人の思い等を伝えている。家族との交流のためグループホームで夕食会を開いている。	○	今後も継続する。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅などへの外出・外泊の機会を作ってもらえるようにする。利用者に面会に来てくれた知人の方々にはまた来て頂けるようお願いする。	○	今後も継続する。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が良い関係が出来るように職員が間を取り持つようにしている。利用者同士が共に仕事やレクリエーションを楽しみ合えるように務めている。	○	今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても相談や支援に応じている。入院で契約が終了してもお見舞いに行き様子を見たりしている。	○	今後も継続する。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用し本人の意向等の把握に努めている。意思の疎通困難な場合であっても表情動作からアセスメントし、また家族の情報もポイントにしている。	○	今後も継続する。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や趣味、特技など面会時情報を収集して、日常生活に生かすように務めている。	○	今後も継続する。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメントを行い生活リズムの把握に努めている。出来ないことより出来ることに視点をおいている。	○	今後も継続する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	朝夕のカンファレンスでアセスメント、モニタリングを行い、家族からの情報も反映できるように介護計画を作成している。	○	今後も継続する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の見直しの他、状態の変化があった場合はその都度カンファレンス(本人・家族を含め)を行い介護計画を作成している。	○	今後も継続する。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別支援記録やケアチェック表を毎日記録し朝夕の申し送り時また必要時に情報を共有しケアプランに生かしている。	○	今後も継続する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々に定期的に訪問して頂いている。また地域の行事に参加している利用者もおります。	○	ボランティア等の情報を収集して色々活用していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	行っていない。		必要があれば支援していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会に参加して頂いている。	○	必要時協働していく。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には入所前からのかかりつけ医に診察を受けている。	○	これからも健康に生活できるようにかかりつけ医との関係を良くしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の周辺症状が強い場合は利用者が専門医に医療を受けられるよう支援している。	○	今後も継続していく。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職が配置されており利用者の健康管理には特に気を付けている。	○	今後も継続していく。」
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関に情報提供をしている。また入院時面会などを通して本人・家族が安心できるように支援している。	○	今後も継続していく。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	見取りについての指針が出来ている。今のところ契約時に本人・家族への説明に留まっている。	○	まだ該当する利用者が居ないが今後勉強会を開いていく。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	該当者がいないためまだ具体的な支援に取り組んでいない。	○	今後に備え話し合いや勉強会を開いていく。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族や前の施設と情報交換をして住み替えのダメージ防止に努めている。	○	今後も継続していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自尊心を傷つけないようさりげない支援に務めている。記録や個人情報の取り扱いも慎重に行われている。	○ 今後も勉強会などを通して徹底していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員は一人ひとりの思いや希望を表出できるように接している。	○ 今後もっと自由に自分の希望や願いを話せ、生き生きと暮らせるように支援していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の望む事を優先し一人ひとりのペースで過ごすことが出来るように支援していく。	○ 個々の思いを受け留め、役割を見出せるように支援していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人・家族の希望する理容・美容店で行っている。また希望者にはホーム内で理髪をしている。また利用者の誕生会にはボランティアの方に化粧をして頂いている。	○ 本人・家族の希望に対応できるようにしていく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ利用者のできる範囲でお手伝いをしてもらい、働いている実感をもってもらっている。	○ 一人ひとりの好き嫌いにも配慮しながら提供していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望によりタバコ・お酒を楽しめるようにしている。	○ 状況にあわせて柔軟に対応する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄状態を観察しチェック表に記録して排泄パターンを把握し気持ちよく排泄できるように支援している。	○	今後も今まで通り取り組んでいく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のほとんどが介助、見守りの必要な方々なので、自由に入浴できる状況でないため、時間帯などを決めて支援させてもらっている。	○	今後も継続する。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の状況に合わせて安心して眠れるように支援している。冬季は湯たんぽなどを準備し利用者が安眠できるようにしている。	○	今後も継続する。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力や得意なことを基に役割をもって生活をしている。また力を発揮できるように感謝・激励の言葉をかけるようにしている。また短時間でもレクリエーションなどを入れるように支援している。	○	今後も継続する。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在利用者で現金を持っている方はおりません。	○	買い物をする機会を作りたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、ドライブ、買い物の手伝い等を行っているが、一人ひとりの希望に沿ってまでは十分対応できていない。	○	ほとんどの利用者は移動時の介助・見守りを必要とする方々なので難しい面もあるが出来るだけ希望に添えるように支援したい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族などと外食、温泉などに出かけたり、昔のサークルの仲間と日帰り旅行に参加している方もいる。4季の行事等には外出支援している。	○	今後も支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話が出来るように対応している。また手紙などが届けられたら返事を出せるように支援している。	○	今後も継続していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問を歓迎し明るくお迎えしている。ホール、自分の部屋など好きなところで面会ができ、飲み物なども準備しております。	○	今後も継続する。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束をしないケアを実践している。	○	今後も実践する。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は鍵を掛けておらず誰でも自由に入って来れるようにしている。また利用者の出入には注意して安全には十分気をつけております。	○	継続します。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人のペースやプライバシーに配慮しながら常に所在を確認している。	○	今後も継続します。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要なとき利用者に貸し出している。また利用者の状態に応じて自分で所持している。タバコを吸われる方のタバコ、ライター、吸殻ケースは当人と話し合い置き場所を設定している。	○	今後も自由に使えるようにしていくが安全や物品の保管には十分注意し支援していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	インシデント・レポートを活用し事故を防ぐための話し合いをしている。毎月、日を決めて火災避難訓練に取り組んでいる。	○	今後も勉強会や利用者の情報交換を行うことにより事故防止につなげていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	当初、応急手当等の訓練を行っていたが、近頃やられていない。	○	来春、専門家を招いて勉強・訓練をする予定。またマニュアルの修得や訓練を実施する。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月火災避難訓練を実施したり、利用者の避難方法を話し合っている。	○	今後も継続する。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについてはケアプランや面会時を利用して説明・話し合いをおこなっている。	○	今後も継続していく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとり普段の様子を把握し、小さな異変を早くきざく様にしている。また毎日バイタルチェックをしている。	○	今後も利用者の状態観察を怠らないようにしていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者本人の薬かよく確認して、また飲んでしまうまで見届けている。薬の追加や変更があれば申し送りノート・引継ぎ時に報告して皆に知らせている。	○	今後も継続する。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日介護記録やチェック表に記載し利用者一人ひとりに合った予防をしている。水分補給や活動を通して体の調子を整えるようにしている。	○	今後もスムーズに排便できるように支援していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個々の状況に合わせて歯磨き・うがい・入れ歯洗浄の声掛け、介助、見守りを行い口腔内の清潔に務めている。	○	今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取状況を毎日チェック表等に記載し利用者の状況を把握している。毎食事前に口腔体操等を行い食事摂取がスムーズにいくようにしている。食事の献立や調理法を工夫している。定期的に体重測定をして体重の変化をチェックしている。	○	今後も継続する。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防に対してはマニュアルを作成し研修会を開き職員皆が対応できるようにしている。	○	今後も継続する。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所の整理整頓、清潔に気を付けている。調理器具等の衛生管理をしっかり行っている。食材は新鮮で安全な物を選んで提供している。	○	今後も継続する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	スロープや階段の段差も緩やかで広く作られています。玄関には絵を飾り、植物を置いております。また椅子を置いて老人でも椅子に座りながら靴の履き替えができます。玄関先にはベンチや植物の鉢を設置しております。	○	今後も継続する。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールに季節の花を飾り、写真や利用者の作品を展示して季節感や温かみのある雰囲気を出している。ホールは太い木材で作られ、天井も高くゆったりとした、明るく安心感のある空間です。またホールからすぐ見える所に花壇を配置して季節の花を楽しめるようにしました。	○	今後も継続する。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの広さを広く取っており、その中に4つのでテーブルを配置して自由に使用し雑談している。また畳を敷いてある所もあるのでそこで横になって過ごす事もできます。	○	今後も自由に過ごせるように環境を整える。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人の馴染みの品、思い出の品を家族に持ってきていただき部屋に置いて貰っております。	○	今後も居心地の良く過ごせる部屋作りに務めます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	床暖房になっているので常に温度設定には気お付けております。冬季には加湿器を準備し湿度に気を付けております。また定期的に換気をしております。	○	今後も継続する。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーや手すりの設置をしている。利用者の状態に応じて杖、歩行器、車椅子を使用したり、職員が介助したりして安全には気を付けております。	○	今後も安全には気を付けて支援していく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の得意とすることあるいはやれることを見つけてできるだけ役割を持っていただく。部屋には本人の名前を表示し、トイレ等も分かり易く表示している。	○	今後も継続していく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にベンチを置いたり、家庭菜園のできる畑、花壇を設置しました。	○	さらにベンチを増やしたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- \* 独自の理念に基づき職員皆と共有し実践に向けて取り組んでいる。
- \* 2人夜勤体制で、安全と安心を提供できる。
- \* 併設するデイサービスの利用者の皆さんや看護実習生との交流ができる。
- \* 外回りの一角に野菜栽培をする畑があり、収穫の喜びを感じたり、食材に利用することで役割が共有できる。